

2026年度 神戸GCP
「UPLB農学英語コース」

概要

本コースはフィリピン大学ロスバニョス校（UPLB）に3週間滞在し、生きた英語を学びながら異文化理解を深める農学部主催のGCP*です。

- ・ 対 象：農学部1,2年生
- ・ 定 員：25名程度（理学部5名前後が加わり最大30名）
- ・ 単 位：【総合教養科目】グローバルチャレンジ実習 2単位
<注意> 現地研修だけでなく、4回の事前学修会(各3時間)、帰国後の事後学修会(4時間)全てへの出席と、帰国後3月中の礼状、体験記作成が必須

*グローバルチャレンジプログラム(GCP)とは？

神戸大の特色を活かした選りすぐりの国や大学等に足を運ぶことで、国内での学びからは得がたい体験・発見を通じた広い視野、深い教養、高い専門性を身につけた人材の育成を目標としています。

本コースの特長

- (1) 神戸大学の正規プログラムです（2単位付与、教職員が全期間帯同）
- (2) UPLBキャンパス内のホテルに1室3名で滞在します
- (3) 2Batch(B21 & 22)に分かれてアクティブラーニング授業で英会話力、発音、プレゼン力が上がります（詳細な個別成績評価書と修了書あり）
- (4) ニックネームで呼び合い、学年・所属をまたいだ1チームの友人になります
- (5) 放課後、UPLB 選抜学生(Facilitator / Student Guardian)と交流しながら英語実践力向上と強い友情が育まれます
- (6) 授業以外にも、植物園、生物科学研究所のラボ、国際イネ研究所(IRRI)、国立自然史博物館、要塞跡、公設市場などの見学を通じ、フィリピンの自然、科学、文化、歴史、生活を体感できます

履修登録～現地研修～帰国までのスケジュール

- 10月上旬に説明会、WEB履修申請*、受講者決定（原則先着順、2年生優先）

*申請時に2027年10月以降まで有効なパスポートの保有が必須です。初海外の方、期限が切れる方は9月上旬までにパスポート申請しないと間に合いません。

- 11-12月に航空券購入(12月に支払い), 1月に研修費支払い(一定要件ありで神戸大学から一部費用の支援がある予定です)
- 11月から2月出国までに事前学修会4回（各3時間）
- 2027年2月20日(土)朝関空発～3月13日(土)夜帰国の現地研修22日間
- 帰国約一週間後、事後学修会1回（約4時間）

事前学修会(4回 x 3時間)

- 学年，所属を超えて参加者同士が事前交流を深める
- 2025年度のB19&20学生交えて歓談と情報収集
- フィリピンについて5テーマ（①国勢・歴史・政経，②生活文化，③教育・恋愛・就職・結婚，④UPLBと見学先，⑤飲食物・特産品）を調査，スライド作りプレゼン
- 出発準備，出入国手続き準備，現地での生活と注意点(とくに飲酒・喫煙)
- 役立つ初級タガログ語

事後学修会(1回 x 4時間)

- 事前学修会からの5ヶ月間で得たこととこれから
- プログラムをもっと充実させるには

まずはパスポート*用意
して10月上旬の説明会#
に参加してください！

*2027年10月以降まで有効
#日時は9月にお知らせします。



【お問い合わせ】

農学部教務学生係
ans-kyomu@office.kobe-u.ac.jp
078-803-5928